

新型コロナウイルス感染症対策に伴う
バドミントン活動ガイドライン
(秋季大会実施にあたって)

令和 2年 9月 4日

茨城県高体連バドミントン専門部

<体調確認>

- ・大会関係者（会場内に入る人）すべての体調確認を行う。
- ・大会当日に検温を行い，書類（健康チェックシート兼参加同意書：高体連）に押印の上，大会本部に提出する。
- ・大会前2週間以内で発熱や倦怠感などの体調不良の症状がみられた場合には，大会参加を見送る。
- ・大会関係者から感染者が発生した場合に備え，個人情報の取扱いに十分注意した上で，提出された書類（団体用：日バ／個人用：日バ or 高体連）を1か月保管し，速やかに確認・提出可能な状態にしておく。
- ・棄権等する際は，会場に足を運ばずメール及び電話等で連絡する。
- ・入場時の検温や急な体調不良（発熱等）に対応して，接触せずに体温を計測できる体温計を用意する。

<人数制限>

- ・会場内に入場できる最大人数は，霞ヶ浦文化体育会館，笠松運動公園体育館ともに収容人数の約50%1,000人を上限とする。
- ・人数には，大会に関わるすべての人（生徒，部活動顧問，外部コーチ等）が含まれるため，保護者等の観客の入場はなしとする。
- ・大会に出場しない生徒は，可能な限り会場に来ないことを原則とする。
- ・会場内への入場は，人数を区切り入場させる。（各校の来場時刻を分散させる）
- ・各校の出場枠は，ダブルス2組，シングルス2名とする。
（出場枠内であれば，3年生の出場も認める）

<準備・片付け>

- ・当番校が行うものとし，最小人数で行うものとする。
- ・使用前並びに片付け時に，ネットやポスト等の消毒を行う。
- ・審判台，サービスジャッジ席，サービス高測定器は設置しない。
- ・コーチ席は設置しない。
- ・コートサイドに用具カゴやドリンクケースの設置はしない。

<式典等>

- ・開・閉会式及び表彰式は行わない。
- ・諸注意を放送で行う。

<消毒>

- ・会場およびアリーナ入口に消毒液を用意し、入場する際は消毒を義務づける。

<換気>

- ・アリーナへの入口は常時開放する。(換気のみならず、ドアへの接触を防ぐため)
- ・遮光に配慮の上、施設内の換気設備の使用や可能な限り窓扉を開放して競技を行う。
- ・強風等の理由で窓やドアの開放が難しく、十分な換気ができない場合は競技を中断して10分程度の換気を行う。

<飛沫防止>

- ・競技中の選手以外の大会関係者は、原則常時マスクまたはフェイスシールドを着用する。ただし、水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ・主審、線審は、マスクまたはフェイスシールドを着用して行う。ただし、水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ・主審はサービスジャッジも兼務する。
- ・線審は得点表示も兼務する。
- ・線審はハンドシグナルを出してコールはしない。
- ・応援は大きな声での声援を不可とする。
- ・応援はフィジカルディスタンスを確保した観客席で行う。移動や通路・手すりに捕まったりしながらの応援等はしない。

<競技中の感染予防対策>

- ・呼吸困難や熱中症になるリスクがあるため、競技中のマスク使用については選手の判断に委ねる。
- ・ラケット・飲料水等は、各自持参したバッグ等に収容する。
- ・ラケット・飲料水等は、自身の物を使用する。やむを得ず、共用物を使用する時は使用前後に消毒をする。
- ・対戦前後の選手同士や審判員との握手は行わない。
- ・トスはフィジカルディスタンスを確保して行う。
- ・シャトルの受け渡しは、手を極力使わずにラケットを使用する。
- ・汗は床に落とさず、自身のタオルで拭き取る。
- ・床の汗は、モップ等で拭き取る。(自身のタオルを使用して拭かない)
- ・シューズの裏を手で拭いたりしない。
- ・コーチングをする際は、選手と一定の距離を保ち必要最小限に短時間で行う。
- ・飲料をこぼした際は、モップ等で拭き取る。(自分のタオルを使用して拭かせない)
- ・ダブルスでは、コート内でパートナーとの会話や接触は極力避ける。

- ・ 競技中の選手も、必要以上の声は出さない。
- ・ 使用した着衣やゴミ等は、必ずビニール袋等に入れて各自で持ち帰る。
- ・ 主審は勝者サインを代筆し、勝者に確認のため提示する。
- ・ 主審の筆記用具等は、各自の物を使用する。

<その他>

- ・ 各所で使用する物品（消毒液・遮蔽用具等）を事前に確認し準備する。施設側に確認の上、準備範囲を明確にする。
- ・ 靴箱の利用を禁止する。（下足は各自のビニール袋等に入れて自己管理をする）
- ・ 本部の設置は密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ・ トーナメントやタイムテーブルの掲示は行わない。
- ・ 更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。
- ・ ウォーミングアップは人との十分な間隔を確保して行う。
- ・ 選手招集所は設けない。
- ・ 無観客で実施することが保護者等に伝わるよう、各校の顧問に周知徹底を図る。
- ・ ゴミは各自で持ち帰り処理する。
- ・ 大会運営上発生したゴミは、マスク及び手袋を着用した上で回収し処理する。作業後は必ず手洗い消毒をする。

本ガイドラインは、公益財団法人日本バドミントン協会が作成した『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン』（令和2年6月4日）および『3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって』（令和2年6月12日）に基づいて、本専門部において作成したものです。